

第3節 小学生が望む未来像

まとめ

小学生がどのような松阪市を求めているかを尋ねました。

小学生が望むこれからの松阪市

「松阪市が今後どのようなまちになるとよいと思いますか」という問いに対し、「緑がたくさんあるまち」が67.0%と最も多く、次いで「子供が遊べる場所の多いまち」「星がきれいに見えるまち」の順となりました。

一方、「高層ビルのある都会のようなまち」「交通の便が良いまち」「商業や工業が発達したまち」は下位となり、自然環境に重きを置いたまちを望む小学生が多いことがわかりました(図10参照)。

また、その他の意見で「バリアフリー」を挙げる小学生が複数人おり、そのほかにも「動物を大切にするまち」「川のきれいなまち」など独自の意見が寄せられました。

当市の小学生は、豊かな自然があり、遊ぶところの多いまちを望んでいることがわかりました。今後のまちづくりは、大人だけがよいと思うものでなく、将来の松阪市を担う子供達が、生き生きと育っていけるまちを目指す必要があります。松阪市の環境づくりにおいて、大人だけでなく子供と一緒に考えることが必要であると思われます。

キーワード

豊かな自然

遊ぶところの多いまち

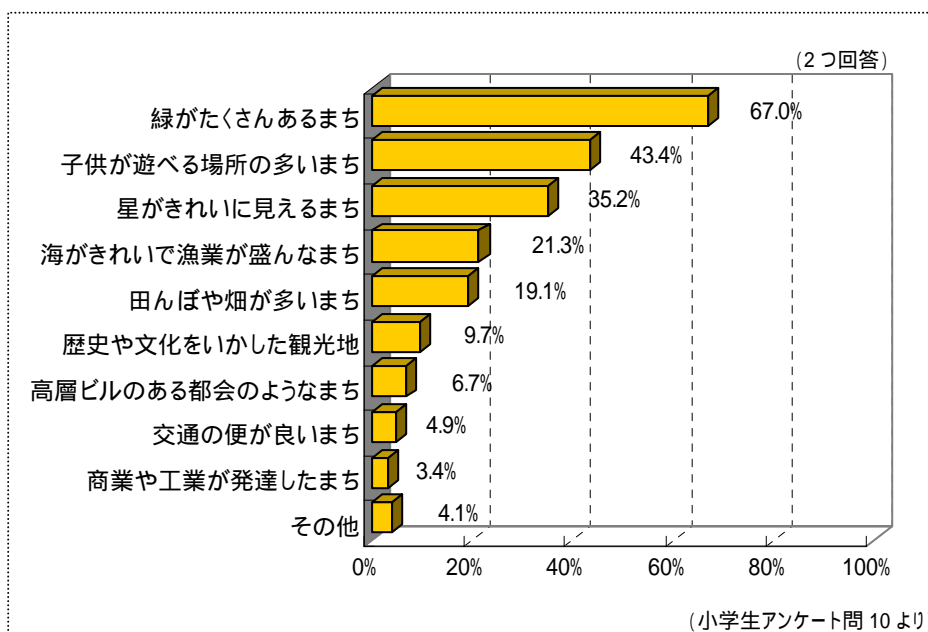


図10 松阪市が今後どのようなまちになるとよいと思いますか

コラム2 身近な生き物 ～中学生との比較～

身近な生き物を「遊んでいて(身のまわりで)見かける」について中学生アンケートの同様の問いと比較しました。それぞれの動植物について、小学生と中学生を比較すると、身近に見かける動植物の順位や、見かけると答えた児童あるいは生徒の割合に差が見られました。

